

平成 29年 09月 01日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

地域優良住宅「よかハウス」

グループの名称

すまいるネットワーク九州

直近採択グループ番号

04-0594-0680

(グループ代表者)

代表者名

西原 幸作

代表者印

代表者所属先

株式会社へいせい

代表者所在地

福岡県糸島市前原西

代表者電話番号

09-2321-1111

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社へいせい

事務局担当者名

本田 隆

印

事務局郵便番号

819-1117

事務局所在地

福岡県糸島市前原西

事務局電話番号

09-2321-1111

事務局FAX

09-2324-6428

事務局担当者E-mail

honda@heisei-ie.com

1. 地域型住宅の名称(必須)	地域優良住宅「よかハウス」
2. グループの名称(必須)	すまいるネットワーク九州
3. 直近採択グループ番号(必須)	04-0594-0680
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	九州
5. 結成年(必須)	2015 年
6. グループ代表者名(必須)	西原 幸作
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社へいせい
8. グループ代表者所在地(必須)	福岡県糸島市前原西
9. グループ代表者電話番号(必須)	09-2321-1111
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社へいせい
11. グループ事務局担当者名(必須)	本田 隆
12. グループ事務局郵便番号(必須)	819-1117
13. グループ事務局所在地(必須)	福岡県糸島市前原西
14. グループ事務局電話番号(必須)	09-2321-1111
15. グループ事務局FAX番号(必須)	09-2324-6428
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	honda@heisei-ie.com

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	5	海外事業者にあつては念書入手不可能であつたため、所属する出荷者による合法性の証明によつて代替する。
II. 製材・集成材製造・合板製造	6	海外事業者にあつては念書入手不可能であつたため、所属する出荷者による合法性の証明によつて代替する。
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	10	一部流通グループを介さず地域材の調達を行う場合がある(海外事業者を含む)
IV. プレカット	6	
V. 設計	4	
VI. 施工	6	
VII. 木材を扱わない流通	1	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1. 都道府県の産地認証制度等によるもの 2. 民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3. 林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4. クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品(合法伐採木材等証明)	国内・国外	
				番号記入欄	
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPC認証制度を利用する		全国		3	国内
		国外		3	国外
		国外		2	国外
		全国		2	国内
		全国		2	国内
		全国		2	国内
	福岡県産材	福岡県	福岡県産木材証明制度	1	国内
	佐賀県産乾燥木材	佐賀県	「佐賀県産乾燥木材」認証制度	1	国内
	佐賀県産材	佐賀県	住みたい佐賀の家づくり推進事業	1	国内
	長崎県産材	長崎県	長崎県産木材証明制度	1	国内
大分県産材	大分県	大分県産材等証明	1	国内	
大分方式乾燥材	大分県	大分方式乾燥材	1	国内	
かごしま材	鹿児島県	かごしま材の証明	1	国内	
かごしま材	鹿児島県	認証かごしま材認証制度	1	国内	

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		4	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		6	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	6	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸		
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		2	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		2	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸		
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		5	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限165万円)		6	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	6	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸			
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	0棟	/			
			0㎡				
		申請が未確定	0棟				
			0㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	第一に均等配分するが、消化率を早めに高めるために、確定戸を保有している構成員に振り分けることを検討する。						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	4戸	交付申請戸数	2戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	2戸	交付申請戸数	2戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	1戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	0棟	交付申請戸数	0棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0戸	
当初予算	採択床面積	0㎡	交付申請床面積	0㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 地域優良住宅「よかハウス」	(地域型住宅供給対象地域) 九州
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) すまいるネットワーク九州	(結成年) 2015 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0594-0680	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	夏の暑さ対策を重視する。 ●夏の暑さ対策・・・九州全般に高温多湿の傾向なので、高気密高断熱の家 日射遮蔽、通風配慮の家 ●災害、特に台風対策・・・構造の安定など、強固な躯体であること。 ●冬の寒さ対策・・・温暖であるが故に、ヒートショックによる事故も多い、温度差の無い住宅。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	●高気密・高断熱住宅の根拠として断熱等級4(H25年基準)であること ●1階の主要開口部上部に庇・日除け等を設け、1階の強い日差しを遮る工夫を盛り込む ●2階の南側 軒の出を確保し、夏季の高い日差しを積極的にカットする ●南北において、高低差のある開口部を採用する	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	●南北、東西の通風計画を行い、1ヶ所以上の「欄間付ドア」を採用する ●夏の台風襲来に備え、1階の主要開口部にシャッター付サッシを採用する ●南面にLOW-Eガラスを採用する ●南面の外構計画において、落葉樹を中心としたシンボルツリーの提案を行う 上記4項目のうち1つ以上を実施する。	◎
④①～③の背景	高温多湿で30度を越える真夏日も多い。 住宅の省エネルギー基準ではV～VIに位置する温暖な地域である。 黒潮や対馬海流といった暖流が近くを通るため、冬でも暖かい。 全土にわたって、夏の降雨量が多く、冬は比較的少ない。台風の襲来が多い。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容: 共同仕入を行い、コストダウンを行う。	
①-2 使用建材の統一	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: ゼロエネルギー住宅未経験工務店向けに共通仕上げ表の作成を行う。	○
①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: コストダウンの体系化を基に原価に関する情報共有を行い、発注方法や資材の調達手法を工夫することで、価格の安定を図る。	◎
②-1 建材・資材調達の商品化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 各構成員ごとに専任の担当者を置き、グループ事務局との事務手続きを円滑に行うよう努める。	○
②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 原価情報の取りまとめと情報発信を行う。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: グループ事務局が中心となり、購入資材の原価情報をグループ内で取り纏め、共有を行う。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容: 原価情報の取りまとめと情報発信を行う。	○
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない ■ ある → 内容: 長期優良住宅の施工基準を指標とする。ただし高度省エネ型の認定申請は任意とする。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある → 内容: 第三者機関による現場検査を実施する事でお客様への信頼につなげる。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない ■ ある → 内容: 住宅施工に関する、施工部位(壁工や基礎工事)を項目化、その作業に関する資材(金額)・手間(時間)などを数値化し1項目に掛かる手間と資材を設定。施工条件など追加金額に関するルールを設け、建物一棟の金額が積算できるようにする。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある → 内容: グループ内で平成28年度省エネ基準について勉強会を開催する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 地域優良住宅「よかハウス」	(地域型住宅供給対象地域) 九州
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) すまいるネットワーク九州	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0594-0680	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報を第三者機関に登録する。	○
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報を第三者機関に登録する。	○
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 登録情報の控えを事務局でも管理する。	○
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「構造耐力上主要な部分」「雨水の浸入を防止する部分」「仕上げ・設備・住設機器」の3項目にポイントを絞り第三者機関の点検を実施する。	○
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上記点検をベースに住宅事業者と施主との相談の上、メンテナンス、リフォームを実施する。	○
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検時期をグループ事務局で管理する。	○
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工構成員ごとにお手入れ講習会を開催する。講習会ではグループで共通のガイドブック等のツールを用意してお客様に配布する。	○
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工構成員ごとにDIY体験会を開催する。講習会ではグループで共通のガイドブック等のツールを用意してお客様に配布する。	○
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住まいのメンテナンス、リフォーム相談会等を各構成員ごとに実施する。	○
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住まいの管理勉強会、DIY勉強会等の開催内容についてグループ事務局を中心とした委員会を設置する。	○
⑤	その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各構成員に所属する職人の情報をグループ事務局に報告する。	◎
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 外部講師を招いてグループ内で勉強会を開催する。外部講師の指定はグループ事務局で行う。	
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ事務局が中心となり、採択後に共通ルールの説明を含めて説明会を開催。未経験工務店に向けて、長期優良住宅申請、認定取得のバックアップサービスメニューを確立する。	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 品質管理のルールブックをグループ事務局で作成する。	○
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上記ルールブックを用いた品質管理を行う。	○
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工構成員ごとに着完工予定表を作成する。	○
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 作成した着完工予定表をもとに需給計画表を作成する。	○
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 需要計画表を原木～プレカット業者へ共有する事で事業全体の時間的、金銭的合理化を図る。	○
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 5 今年度の参加目標人数 5	○
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 0 今年度の参加目標人数 5	○
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各構成員ごとの参加者情報をグループ事務局で管理する。受講スケジュールについてもグループ事務局が各構成員に案内を行い参加を促す。	◎
c		
①	新たな技術等の導入 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②	新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他	グループ構成員間で情報交換を行う仕組みとして、「改善活動」を行う。「コストダウン」「バリューアップ」の2つの切り口で事務局が公募をし、良い内容は共有すると共に、構成員間で適宜実施していく。また、「住宅の現場・施工」「業務全般」の2つの分野でも「コストダウンできたこと」「バリューアップできたこと」を募集し共有する。良い意見は、代表の構成員が実施していく。現在、工務員の1社で実施しているが、この活動をグループ全体に広げていきたい。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 地域優良住宅「よかハウス」	(地域型住宅供給対象地域) 九州
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) すまいるネットワーク九州	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0594-0680	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成29年度対応方針】		
a	① 地域材利用に関する 共通 ルール(必須)	◎
	② 地域材利用の1棟当 たりの割合(必須)	○
	③ 標準的な地域材の使 用部位(必須)	○
	④ 地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に関 する補足説明	
	b	①-1 地域材在庫把握の仕組
①-2 地域材価格の共有の仕組		○
② グループ全体における地 域材の需給予測		
c	①-1 畳の活用	○
	①-2 和瓦の活用	○
	①-3 襖の活用	○
	①-4 障子の活用	○
	②-1 その他地域の伝統的な素 材の活用	
	②-2 その他地域の伝統的な意 匠の活用	
d	① 地域の伝統的なデザイ ンを継承する取組	○
	② 地域の住まい方の継承に つながる取組	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与 する取組	○
	④ 和の住まいの要素を取入 れた取組	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自 のルール・目標があれば記入 してください。		
カ. その他		
【平成29年度対応方針】		
東日本大震災の復興に資する取組		
平成28年熊本地震の復興に資する取組		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 地域優良住宅「よかハウス」	(地域型住宅供給対象地域) 九州
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) すまいるネットワーク九州	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0594-0680	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

地域優良住宅 よかハウス 「高度省エネ型」住宅の特徴

●高温多湿の環境にプラスして、近年では特にPM2.5に対する住民意識も高く、特に暑い時期の室内を締め切った際の空気環境の効率が求められている。そこで、よかハウスの「高度省エネタイプ」については、特に建物の断熱性能を高め、室内の空調効率を最大限に活かす住宅とする。

●(詳細は様式5-1に記載)

5地域→20%

6地域→20%

7地域→20%